

2023年3月期 決算説明会



～人々の健康と豊かな暮らしのために～
<https://www.transgenic.co.jp>

2023年5月12日
株式会社トランスジェニック

注：当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づき作成しておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、今後の当社の経営成績及び財政状態につきましては、市場の動向、新技術の開発及び競合他社の状況等により、大きく変動する可能性があります。

I. 2023年3月期連結決算概要	・・・ 2
II. 創薬支援事業の状況（診断解析事業を除く）	・・・ 7
III. 投資・コンサルティング事業の状況	・・・ 11
IV. 2024年3月期連結業績予想	・・・ 15



I . 2023年3月期連結決算概要

2023年3月期連結業績

主にPCR検査受託事業売却に伴う売上・利益の喪失により、連結業績は大幅な減収・減益となり、特別損失計上もあり、3期ぶりの最終赤字となった。

売上高

11,429百万円

対2022年3月期

1,146百万円減

(うち診断解析事業2,496百万円)

創薬支援事業 2,514百万円減 (△52.7%)

投資・コンサルティング事業 1,359百万円増 (+17.4%)

本社・連結調整 7百万円増

営業利益

△25百万円

対2022年3月期

1,862百万円減

(うち診断解析事業1,682百万円)

創薬支援事業 1,755百万円減 (△98.8%)

投資・コンサルティング事業 107百万円減 (△39.6%)

本社・連結調整 0百万円増

経常利益

199百万円

対2022年3月期

1,620百万円減

親会社株主に帰属する 当期純利益

△409百万円

対2022年3月期

2,286百万円減

2023年3月期連結決算：診断解析事業を除く業績比較

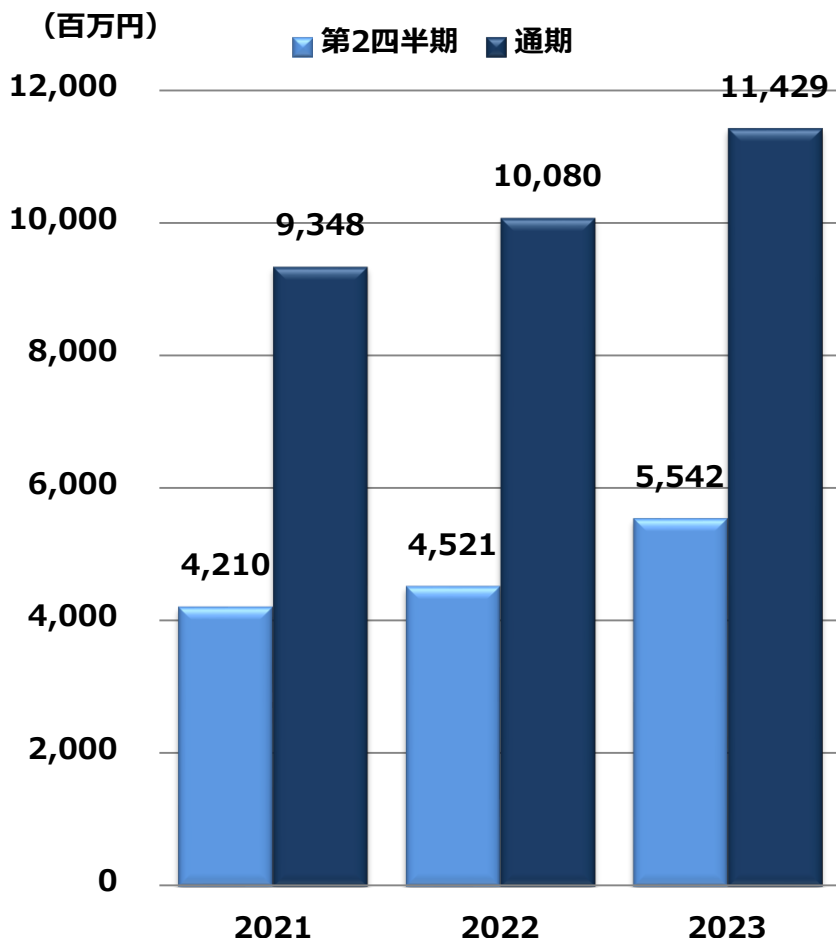
診断解析事業を除く連結売上高は、前年同期比で13億49百万円（+13.3%）の増収となったが、創薬支援事業における多額の期ズレ及びEC事業における多額の評価損計上により連結営業利益は1億80百万円減少の▲25百万円となった。

単位：百万円	A 2022年3月期 (診断解析事業除く)	B 2023年3月期	増減 (A-B)	
			百万円	%
売上高	10,080	11,429	1,349	13.4
創薬支援事業(CRO事業)	2,270	2,253	▲17	
投資・コンサルティング事業	7,822	9,181	1,359	
本社・連結調整	▲13	▲5	7	
営業費用	9,925	11,454	1,529	15.4
創薬支援事業 (CRO事業)	2,177	2,232	55	
投資・コンサルティング事業	7,551	9,018	1,466	
本社・連結調整	196	204	7	
営業利益	154	▲25	▲180	-
創薬支援事業(CRO事業)	93	20	▲73	
投資・コンサルティング事業	271	163	▲107	
本社・連結調整	▲210	▲209	0	

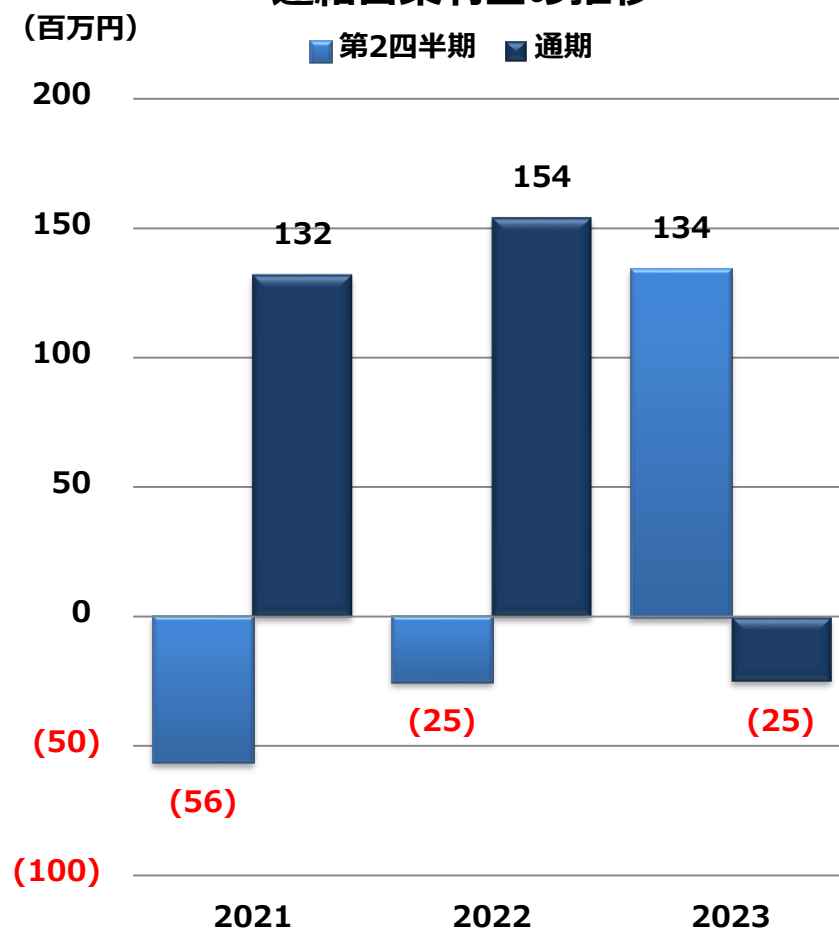
2023年3月期連結決算：診断解析事業を除く3期推移

本来、下期偏重型だが、下期に発生した創薬支援事業での多額の期ズレ及びEC事業での多額の在庫評価損計上により、通期連結営業利益は赤字となった。

診断解析事業を除く
連結売上高の推移



診断解析事業を除く
連結営業利益の推移



2023年3月期連結決算：連結キャッシュフロー

前期の課税所得を起因とする納税負担及び事業拡大時の運転資金増加で営業CFは一時的にマイナスになったが、強固な財務基盤を元に積極的に投資を実行した。

単位：百万円		2022年3月期	2023年3月期	増減要因
営業 キャッシュ・ フロー	税引前利益	2,767	△331	
	たな卸資産の増減加額	△353	△467	契約受注残増に伴う製品・仕掛品の増加
	法人税等の支払額	△215	△489	前期課税所得増加に伴う納付額の増加
	その他	△409	△140	
		1,789	△1,430	
投資 キャッシュ・ フロー	固定資産の取得	△532	△306	主に創薬支援事業における実験機器関連投資
	子会社株式の取得	△185	△693	M&A投資2社（創薬支援1社、投資コンサル1社）
	その他	1,699	783	前期は子会社売却1,438、当期は保険積立解約494
		981	△216	
財務 キャッシュ・ フロー	有利子負債の増減額	△832	585	設備投資及びM&A投資に対応し長期借入を増加
	配当金の支払額	△52	△100	
	その他	△298	—	
		△1,183	484	
現金及び現金同等物に係る換算差額		0	1	
現金及び現金同等物の増減額		1,588	△1,159	
現金及び現金同等物期首残高		3,030	4,618	
現金及び現金同等物期末残高		4,618	3,459	

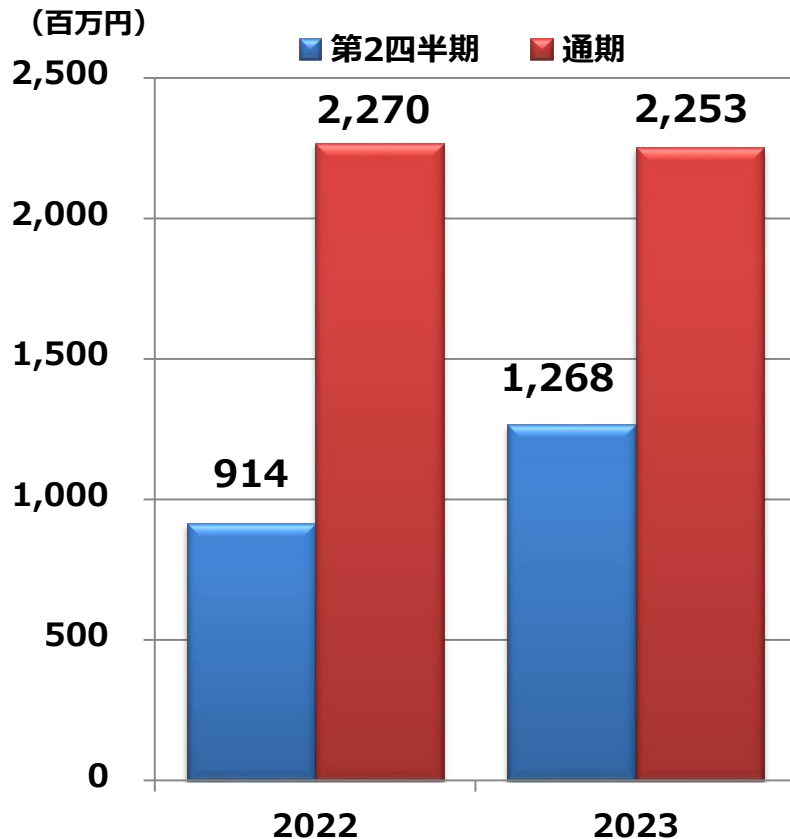


Ⅱ. 創薬支援事業の状況（診断解析事業を除く）

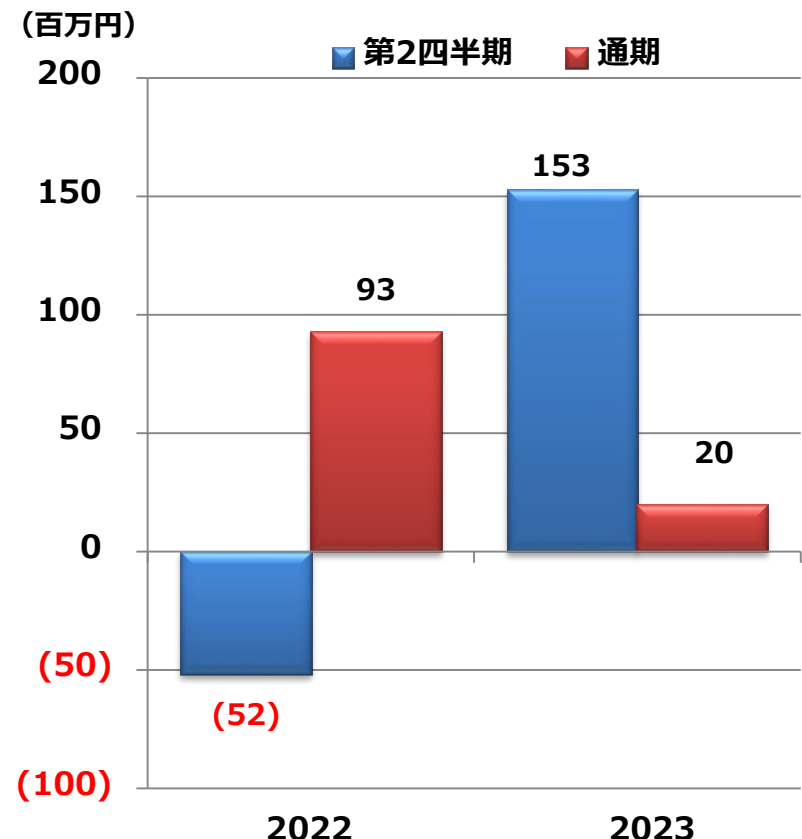
創薬支援事業：診断解析事業を除く業績概要

- 2023年2月10日公表の業績予想時点においては通期売上高2,500百万円、営業利益150百万円の増収増益を予想していたが、期ズレを主要因として売上高2,253百万円、営業利益は20百万円と、予想を下回る減収減益となった。

売上高



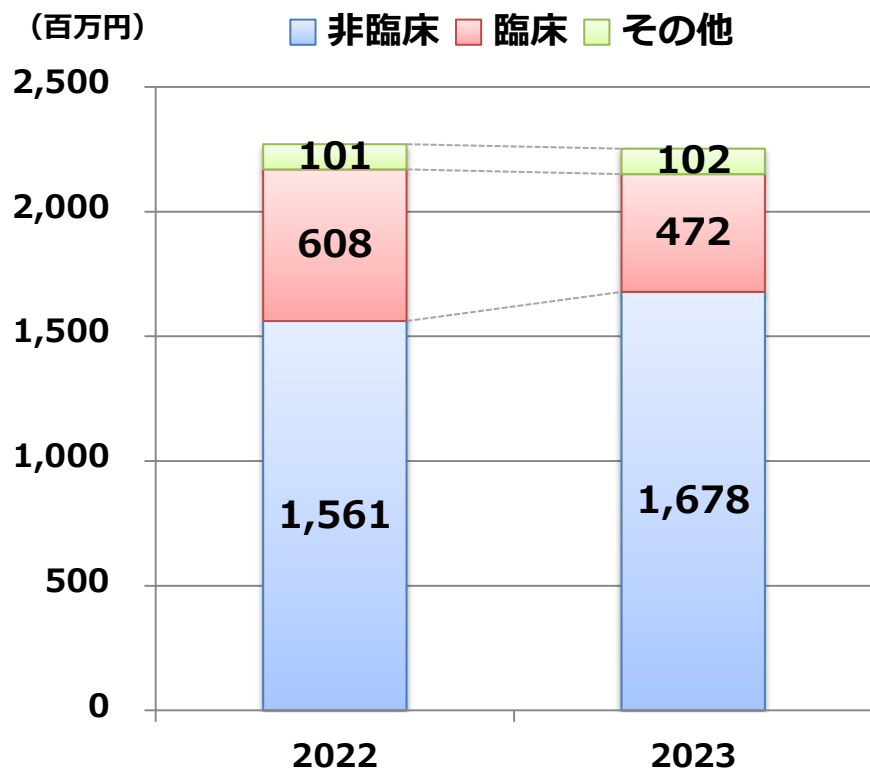
営業利益



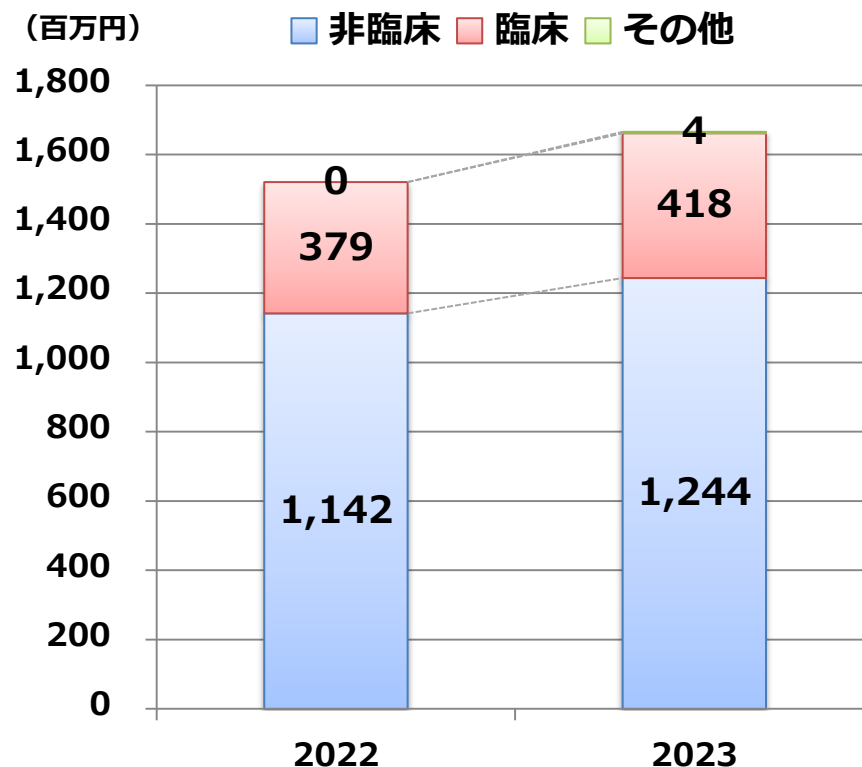
創薬支援事業：業績概要

- 売上高は多額の期ズレにより前期比で微減となったが、主力の非臨床事業売上については順調に拡大している。
- 繰越受注残についても每期増加傾向を続けており、来期は増収を予想する。

売上高



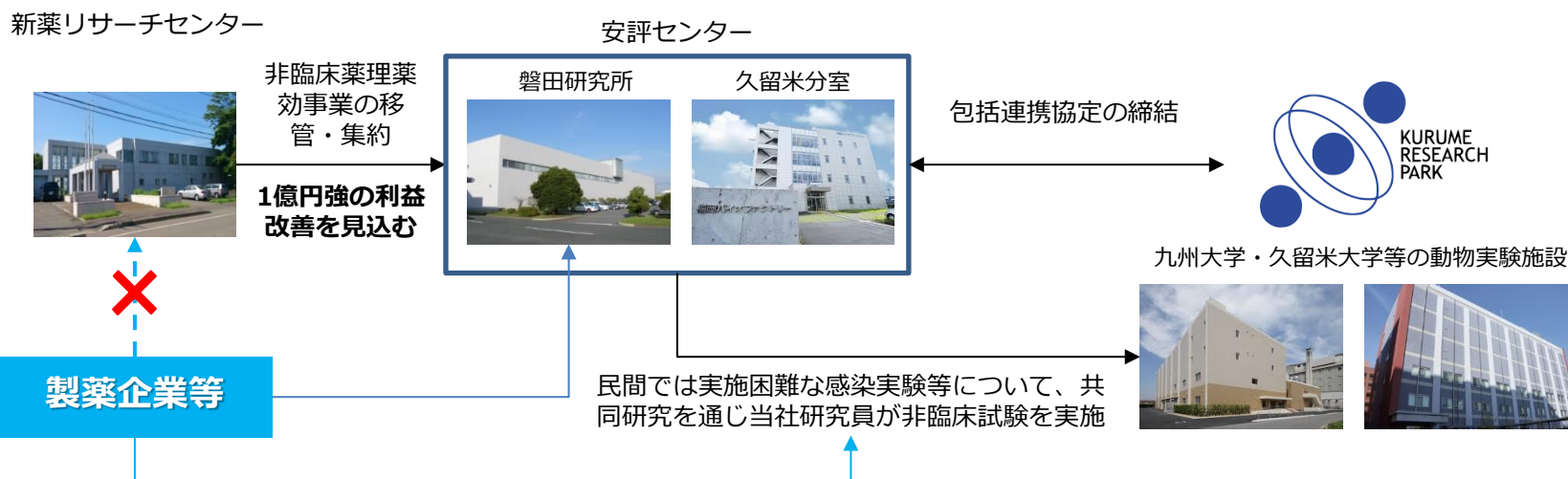
繰越受注残



創薬支援事業：今期の取り組み

- ◆ 久留米分室の設置&久留米リサーチパーク（KRP）との包括連携協定の締結
- ◆ 非臨床事業の再編

項目	内容・目的	効果
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 久留米分室の設置 ➢ KRPとの包括連携協定 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 創薬モダリティの進展に対応した分析機能の強化 ➢ 地域バイオコミュニティ発展への貢献及びバイオコミュニティ参画企業からの創薬支援業務の獲得 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 安評センター受注能力のボトルネックとなっている分析機能強化により、受注能力を更に拡大 ➢ 公的研究機関施設活用を通じ、設備投資負担を軽減しつつ受注能力を拡大
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 非臨床事業の再編 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 限られた経営資源（研究員・施設）を集約することで、非臨床事業の運営効率性を抜本的に改善 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 新薬リサーチセンター中央研究所で実施していた薬理薬効試験事業を安評センター研究所へ移管・集約することで、設備費等の削減を通じ、年間1億円強の利益改善を見込む



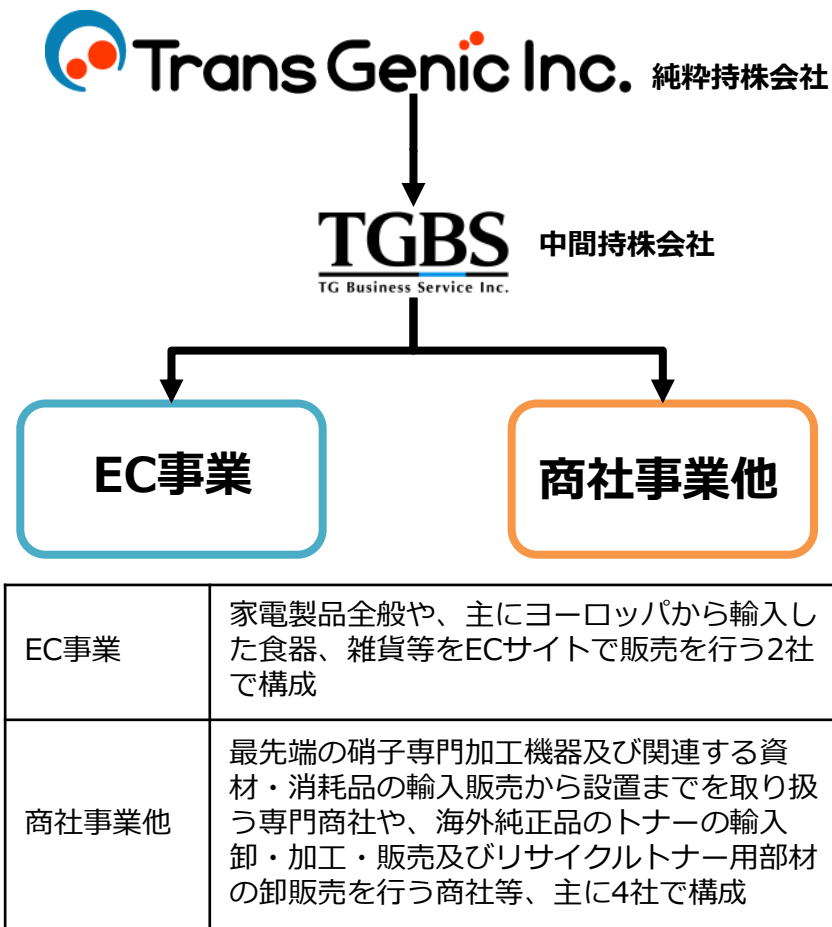


Ⅲ. 投資・コンサルティング事業の状況

投資・コンサルティング事業：事業概要及び特徴

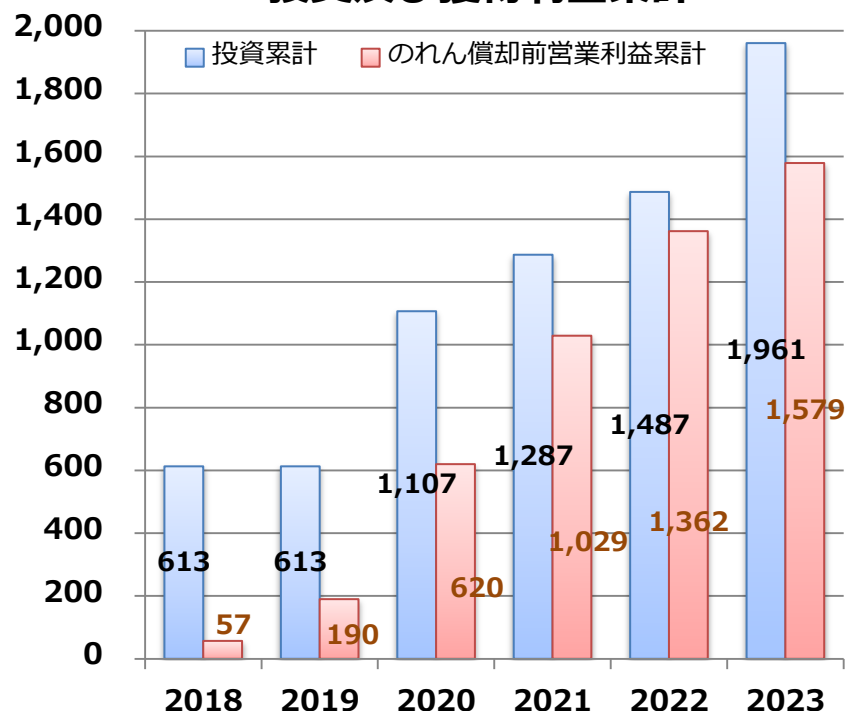
事業概要・特徴

M & Aによる新規事業の推進と幅広い分野における事業承継及び事業再生分野に係る助言・支援及び投資を実行。事業承継案件を対象に、「ニッチ・黒字安定・自走経営」を投資要件として、当上半期時点で主要6社に投資を実行し事業運営。



(百万円)

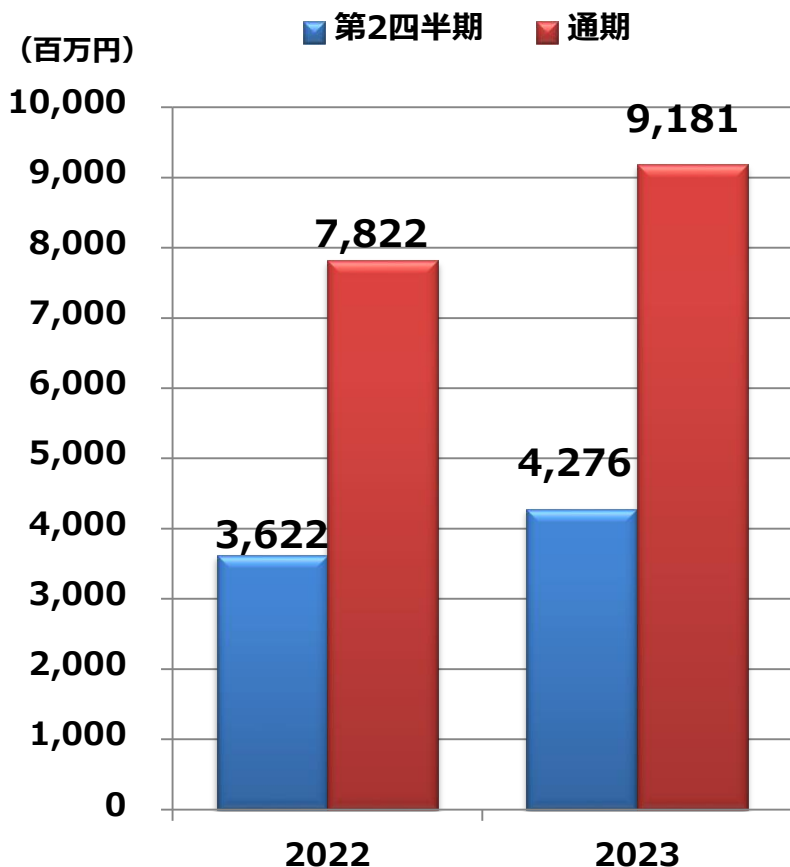
投資及び獲得利益累計



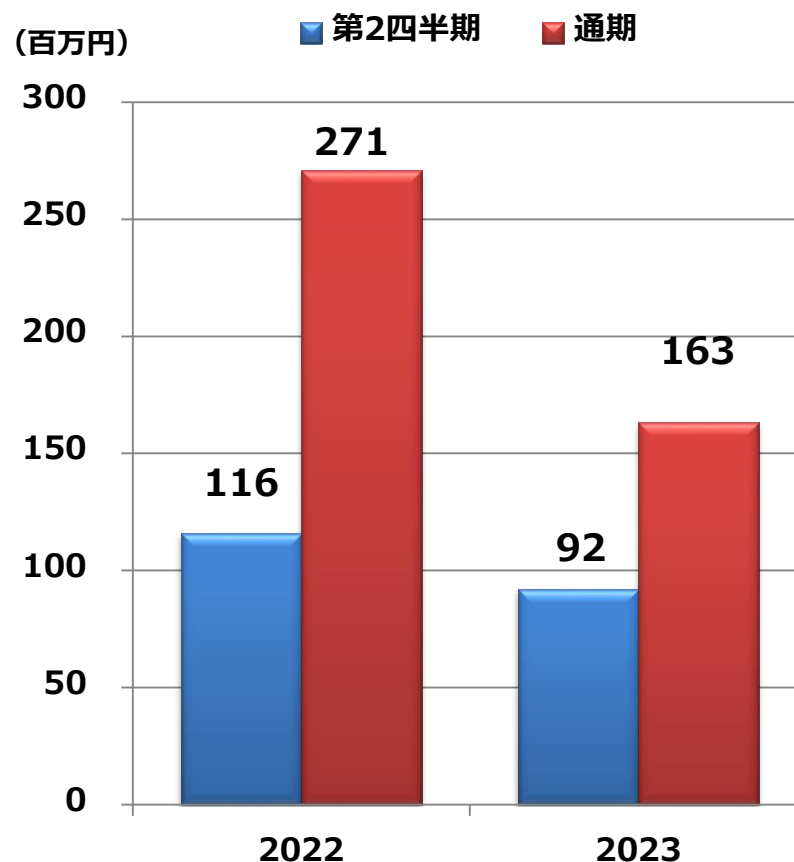
M&A市場が拡大している事業承継案件を対象に、ここまで、「ニッチ・黒字安定・自走経営」を投資条件として投資を実行。今後も、投資回収状況、グループの財務状況を見て投資を継続し事業拡大を図る方針。

- 売上高については、商社事業の好調及び新規加入子会社の通期貢献等により増収となったが、営業利益については、EC事業の不調及び同事業における多額の評価損計上等により減益となった。

売上高

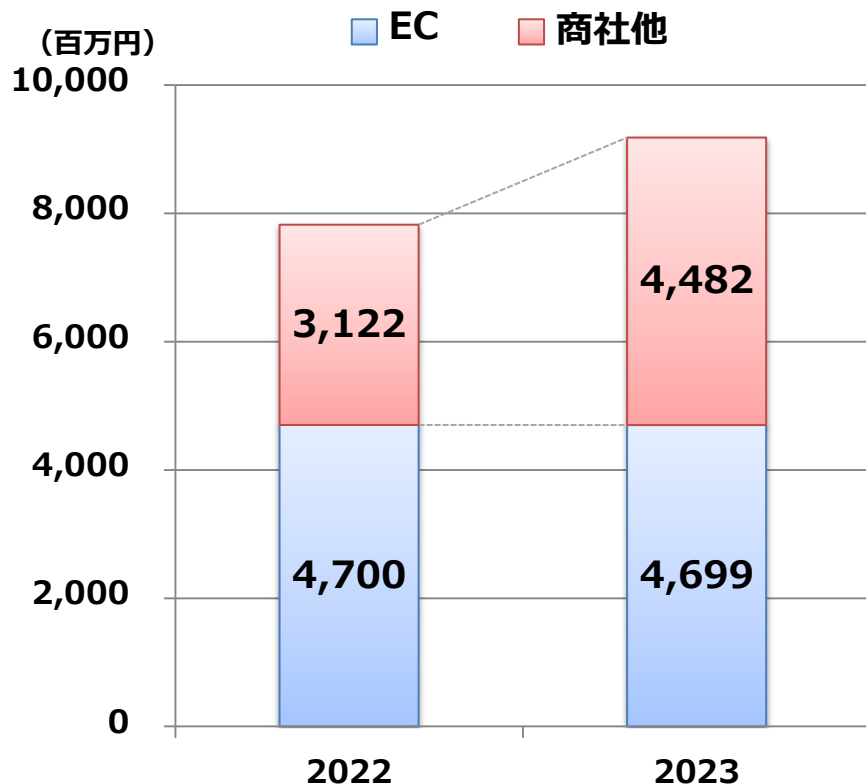


営業利益

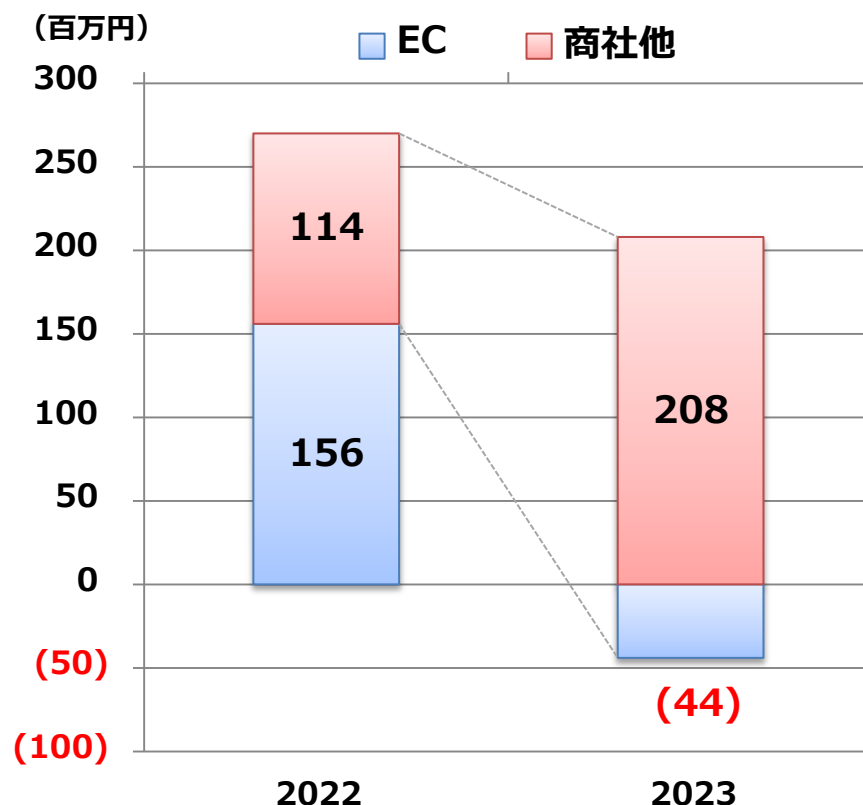


- **EC** : 家電販売については通年の家電製品流通停滞により売上・利益が低迷。食器・雑貨販売についても世界的な物価高、円安による輸入価額上昇で売上・利益が低迷する中、商品評価損計上により営業赤字となった。
- **商社他** : 世界的な物価高、円安による輸入価額上昇に対する価格改定に時間を要し、上半期は苦戦するも、下半期に挽回し大幅な増収増益となった。

売上高



営業利益





IV. 2024年3月期連結業績予想

2024年3月期 連結業績予想

来期の通期連結業績予想は、両事業部門において認識した課題に対する確かつ迅速に対処することを念頭に、それぞれ増収増益を予想する。

単位：百万円	2024年3月期 (通期予想)	2023年3月期 (実績)	増減	
			百万円	%
売上高	12,500	11,429	1,070	9.4
創薬支援事業(CRO事業)	2,600	2,253	346	15.4
投資・コンサルティング事業	9,900	9,181	718	7.8
本社・連結調整	-	▲5	5	-
営業費用	12,200	11,454	745	6.5
創薬支援事業 (CRO事業)	2,400	2,232	167	7.5
投資・コンサルティング事業	9,600	9,018	581	6.4
本社・連結調整	200	204	▲4	▲2.0
営業利益	300	▲25	325	-
創薬支援事業(CRO事業)	200	20	179	895.0
投資・コンサルティング事業	300	163	136	83.4
本社・連結調整	▲200	▲209	9	▲4.3



～人々の健康と豊かな暮らしのために～

<https://www.transgenic.co.jp>